

令和 8 年度 事業計画書

基本方針	当財団は、公益法人としてつくば市の文化向上及び福祉の発展を目指して、地域の文化・芸術の振興に資する諸事業をハード、ソフト両面から行い、地域社会の発展及び健康で豊かな市民生活の形成に寄与することを目的とする。
------	---

【公益目的事業】

1. 文化芸術振興事業	指定管理者として管理運営するノバホール及びつくばカピオを主会場に、音楽・演劇等の文化芸術公演や美術展等を、つくば市との共同主催により実施する。 令和 7 年度の状況としては、完売や入場率の高い公演と、集客に課題の残る公演とに二極化する傾向があった。「推し活ブーム」が話題になったように、観客は自分の好きなもの・自分にとって価値の高いもの（推し）には積極的に金銭や時間を投資する傾向にあると言える。そのよう中で、令和 8 年度事業では、市民の関心の高い子ども対象公演、安定的な集客が見込めつつ芸術性の高い鑑賞事業等を積極的に取り上げる。 つくばカピオが開館 30 周年を迎えることを受け、子どもから大人まで幅広い年代の市民を対象とした記念事業を計画する。特に、つくば市の地域課題と言われる「未就学親子の居場所不足」に対し、文化芸術分野からアプローチすることを目的に、未就学児を対象とした公演を複数計画し、シリーズとして展開する。 このほか、市内在住の 70 歳以上にチケットの割引販売を行う「つくばシニア割」制度については、引き続き利用促進を図るとともに、高齢者対象事業である「T H Eカルテットの昭和歌謡コンサート」については、バリアフリー等の観点から市民ホールでの開催を計画する。 なお、アマチュア団体等への文化芸術活動支援については、引き続き特定寄付金等を活用し、積極的に事業を進めていく。 ※詳細は別表「令和 8 年度つくば市文化芸術振興事業計画一覧」参照 （１）つくば国際音楽祭事業 海外アーティストの招へいについては、渡航費、滞在費の高騰、来日可否など不確定要素が多く、令和 8 年度も実施しない。 （２）つくば市文化芸術振興事業（公演鑑賞型） ノバホール、つくばカピオの特性を活かした音楽・芸能等の公演を行う。 特に、つくばカピオの開館 30 周年を記念し、未就学児から大人まで幅広い年代の市民を対象とした事業を展開する。 《計画する事業》 <table> <tr> <td>音楽</td><td>10 事業（クラシック音楽 4 事業、ポピュラー音楽 6 事業）</td></tr> <tr> <td>映画</td><td>1 事業</td></tr> </table>	音楽	10 事業（クラシック音楽 4 事業、ポピュラー音楽 6 事業）	映画	1 事業
音楽	10 事業（クラシック音楽 4 事業、ポピュラー音楽 6 事業）				
映画	1 事業				

	演劇 2 事業（人形劇 1 事業、演劇 1 事業） 舞踊 1 事業 合計 14 事業（令和 7 年度 15 事業） 《つくばカピオ開館 30 周年記念事業》 小倉良の All that Music! ※市民参加・体験型事業 中村義洋監督作品映画上映会 人形劇団プーク「三匹のやぎのがらがらどん」（未就学児対象公演） 鶴木絵里・中川賢一絵本コンサート（未就学児対象公演） 劇団ラ・バラッカ（未就学児対象公演） 合計 5 事業 （3）つくば市文化芸術振興事業（市民参加・体験型） 広く市民を対象に、文化芸術へのより一層の理解や、積極的に実践していくきっかけづくりを目的として、市民参加・体験型事業を実施する。 《計画する事業》 第 19 回つくばで第九 小倉良の All that Music! 合計 2 事業（令和 7 年度 3 事業） 「つくばで第九」は、公募により集まった市民合唱団が約 5 カ月間の練習を経て、プロの指揮者・ソリスト・オーケストラとベートーヴェンの交響曲第九番を披露するもので、19 回目の開催となる。令和 7 年度も定員を越える合唱団の応募があったほか、公演も高い入場率を誇る。 （4）絵画の制作表彰事業 子どもを対象に、写生や彫像などの制作をとおして、美術全般への親しみ、理解、技術の向上を目的に事業を行う。 《計画する事業》 夏休みアート・マルシェ 2026 合計 1 事業（令和 7 年度 1 事業） 筑波大学連携のもと、未就学児及び小中高生を対象として、絵画、廃ボール利用したボール・デザイン、石膏オブジェ制作、木廃材を利用したオブジェ制作を行い、その作品表彰、展示を行う。制作指導や専門教官による審査等、大学の全面協力を得る中、18 回目の開催となる。 （5）文化芸術活動支援事業 当財団への寄付金を財源として、市内で積極的に活動する文化芸術団体やサークル等に対し、財政的支援、助言等を行う。
--	--

2. ノバホール
管理運営
事業

(1) 施設の概要

施設名	ノバホール
所在地	つくば市吾妻1丁目-10-1
構造・規模	鉄筋コンクリート造 地上3階地下1階
敷地・延べ床面積	5,138 m ²
開館日	1983年6月

(2) 管理運営上の方針について

ノバホールの管理運営については、「地域の芸術文化の振興と住民福祉の増進を図り、もって文化水準の向上に寄与する」という設置目的に基づき遂行するもので、公の施設として市民に対して、公平・公正な利用機会を確保し、指定管理業務を適正に運用していくことを基本とする。

施設の管理にあたっては、各種法令、条例等に基づくコンプライアンスの徹底はもとより、市民の安全・安心な利用を図るため、日常的、定期的な施設点検等を厳正に実施する。あわせて、施設や設備の老朽化、自然災害等による破損、不具合等の未然防止につとめるとともに、これらの修繕や改修工事等については、つくば市との緊密な連携のもと進めていく。

また、質の高いサービスを提供していくため、“お客様の声”に十分耳を傾けながら、利便性の向上につながるサービスを、職員一人ひとりが積極的に取り組むことで、さらなる満足度、利用率の向上につなげていく。

令和8年度は、照明設備等、近年要望していた設備の更新計画をすすめ、利用環境の向上を果たすべく、つくば市と連携を図っていく。

(3) 安全・安心面での取り組み

取り組み方針	達成指標
①点検の取組み 未然防止策を講じることにより事故等のリスク軽減を図る。	○法定点検及び検査、報告等を実施する。 ○巡視点検（1日4回） 施設の巡回を行い、火気及び消防設備動作障害、不審者及び不審物の早期発見に努める。 ○設備点検（毎日） 機械設備の監視を行い、機械設備の不具合を早期に発見するとともに機能保全に努める。 ○建物点検（毎月1回） 施設の巡回を行い、ドアや階段手すり等の現状確認をする。

	②緊急時の対応 火災や自然災害、事故等に備えた運営体制の強化を図る。 ③人材育成や職員の研修等の取組み 施設の管理運営を適正に行うため、職員のさらなる能力・資質の向上に努める。	○事前打合せ（随時） 必要事項の確認、指導を行い、利用者と協力して安全管理を実施する。 ○消防計画に基づき自衛消防隊を組織し、防火防災訓練を年2回実施する。 ○設備取扱研修を1回実施する。 ○公立文化施設協議会の研修を年2から3回参加する。 ○定期研修として応急救命法や接遇、防犯等の研修を年1回実施する。 ○定例会議として毎月1回実施し職員の対応を統一させ、催事情報を共有し円滑な運営を図る。						
(4) サービス向上面での取り組み								
	<table><tr><th>取り組み方針</th><th>達成指標</th></tr><tr><td> ①利用者アンケートの実施 施設を快適に利用していただくために、利用者に対して以下の設問を用意し、内容を分析し、今後の管理運営上の参考としていく。 ・施設の管理は行き届いているか。 ・施設は利用しやすいか。 ・職員の対応はどうか。 「満足・やや満足・ふつう・やや不満・不満」 ・その他のご意見や要望など </td><td> ○施設管理について満足度(満足・やや満足を合わせて)前年度以上を目標とする。 ○施設の利用しやすさ満足度(満足・やや満足を合わせて)95%以上を目標とする。 ○職員の対応：満足度(満足・やや満足を合わせて)前年度以上を目標とする。 ○意見・要望の把握し、出来るものから速やかに対応をする。 </td></tr><tr><td> ②情報発信事業 施設の情報を迅速、見やすく発信することで、利便性を高め施設の活性化を図る。 </td><td> ○財団広報誌に施設案内やイベント情報を掲載。 ○財団ホームページに施設情報として、催事案内、チケット販売情報、施設予約状況等を掲載し、常に最新情報を提供する。 ○つくばセンター地区活性化協議会及び筑波研究学園都市交流協議会の会員と </td></tr></table>	取り組み方針	達成指標	①利用者アンケートの実施 施設を快適に利用していただくために、利用者に対して以下の設問を用意し、内容を分析し、今後の管理運営上の参考としていく。 ・施設の管理は行き届いているか。 ・施設は利用しやすいか。 ・職員の対応はどうか。 「満足・やや満足・ふつう・やや不満・不満」 ・その他のご意見や要望など	○施設管理について満足度(満足・やや満足を合わせて)前年度以上を目標とする。 ○施設の利用しやすさ満足度(満足・やや満足を合わせて)95%以上を目標とする。 ○職員の対応：満足度(満足・やや満足を合わせて)前年度以上を目標とする。 ○意見・要望の把握し、出来るものから速やかに対応をする。	②情報発信事業 施設の情報を迅速、見やすく発信することで、利便性を高め施設の活性化を図る。	○財団広報誌に施設案内やイベント情報を掲載。 ○財団ホームページに施設情報として、催事案内、チケット販売情報、施設予約状況等を掲載し、常に最新情報を提供する。 ○つくばセンター地区活性化協議会及び筑波研究学園都市交流協議会の会員と	
取り組み方針	達成指標							
①利用者アンケートの実施 施設を快適に利用していただくために、利用者に対して以下の設問を用意し、内容を分析し、今後の管理運営上の参考としていく。 ・施設の管理は行き届いているか。 ・施設は利用しやすいか。 ・職員の対応はどうか。 「満足・やや満足・ふつう・やや不満・不満」 ・その他のご意見や要望など	○施設管理について満足度(満足・やや満足を合わせて)前年度以上を目標とする。 ○施設の利用しやすさ満足度(満足・やや満足を合わせて)95%以上を目標とする。 ○職員の対応：満足度(満足・やや満足を合わせて)前年度以上を目標とする。 ○意見・要望の把握し、出来るものから速やかに対応をする。							
②情報発信事業 施設の情報を迅速、見やすく発信することで、利便性を高め施設の活性化を図る。	○財団広報誌に施設案内やイベント情報を掲載。 ○財団ホームページに施設情報として、催事案内、チケット販売情報、施設予約状況等を掲載し、常に最新情報を提供する。 ○つくばセンター地区活性化協議会及び筑波研究学園都市交流協議会の会員と							

	③総合的にサービス向上を図り、利用者及び利用率の拡大に努める。	して、イベント等に参加し、地域活性化とともに館のPRを行う。 ○利便性向上のための各種サービスを実施。 ・各種チケットの受託販売 ・施設利用者向けコピー・FAXサービス ・附属設備以外の備品の貸出。(電子ピアノ・案内用スタンド) ○施設理解、親近感醸成のため、小ホールピアノおためし会等の自主事業を実施する。
--	--	---

3. つくばカピオ管理運営事業

(1) 施設の概要

施設名	つくばカピオ
所在地	つくば市竹園1丁目10-1
構造・規模	鉄筋コンクリート造 地上4階地下1階
敷地・延べ床面積	9090㎡・9130㎡
開館日	1996年8月

(2) 管理運営上の方針について

つくばカピオの管理運営については、「市民に文化活動、スポーツ活動等による交流の場を提供し、豊かな市民生活の形成に寄与する」という、館の設置目的に基づき遂行するもので、公の施設として市民に対して公平・公正な利用機会を確保し、指定管理業務を適正に運用していくことを基本とする。

施設の管理にあたっては、各種法令、条例等に基づくコンプライアンスの徹底はもとより、市民の安全・安心な利用を図るため、日常的、定期的な施設点検等を厳正に実施する。あわせて、施設や設備の老朽化、自然災害等による破損、不具合等の未然防止につとめるとともに、これらの修繕や改修工事等については、つくば市との緊密な連携のもと進めていく。

また、質の高いサービスを提供していくため、“お客様の声”に十分耳を傾けながら、利便性の向上につながるサービスを、職員一人ひとりが積極的に取り組むことで、さらなる満足度、利用率の向上につなげていく。

つくばカピオが竣工して30年が経過するところで、建物の耐久性及び、施設の機能、性能を上げるために設計を進めていく。利用者への安全性、利便性を考慮しながら、つくば市と連携を図り対応していく。

(3) 安全・安心面での取り組み

取り組み方針	達成指標
①点検の取組み 未然防止策を講じることにより事故等のリスク軽減を図る。	○法定点検及び検査、報告等を実施する。 ○巡視点検（1日4回） 施設の巡回を行い、火気及び消防設備動作障害、不審者及び不審物の早期発見に努める。 ○設備点検（毎日） 機械設備の監視を行い、機械設備の不具合を早期に発見するとともに機能保全に努める。 ○建物点検（毎月1回） 施設の巡回を行い、ドアや階段手すり等の現状確認をする。

	②緊急時の対応 火災や自然災害、事故等に備えた運営体制の強化を図る。 ③人材育成や職員の研修等の取組み 施設の管理運営を適正に行うため、職員のさらなる能力・資質の向上に努める。	○事前打合せ（随時） 利用者に対し緊急時の順守事項等の確認、指導を行い、安全な施設運営を図る。 ○消防計画に基づき自衛消防隊を組織し、防火防災訓練を年2回実施する。 ○設備取扱研修1回実施する。 ○公立文化施設協議会の研修を年2から3回実施する。 ○定期研修として応急救命法や接遇、防犯等の研修を年1回実施する。 ○定例会議として毎月1回実施し職員の対応を統一させ、催事情報を共有し円滑な運営を図る。
（４）サービス向上面での取り組み		
	取り組み方針 ① 利用者アンケートの実施 施設を快適に利用していただくために、利用者に対して以下の設問を用意し、内容を分析し、今後の管理運営上の参考としていく。 ・施設の管理は行き届いているか。 ・施設は利用しやすいか。 ・職員の対応はどうか。 「満足・やや満足・ふつう・やや不満・不満」 ・その他のご意見や要望など ② 情報発信事業 施設の情報を迅速、見やすく発信することで、利便性を高め施設の活性化を図る。	達成指標 ○施設管理について満足度（満足・やや満足を合わせて）前年度以上を目標とする。 ○施設の利用しやすさ満足度（満足・やや満足を合わせて）90％以上を目標とする。 ○職員の対応：満足度（満足・やや満足を合わせて）前年度以上を目標とする。 ○意見・要望の把握し、出来るものから速やかに対応をする。 ○財団広報誌に施設案内やイベント情報を掲載。 ○財団ホームページに施設情報として、催事案内、チケット販売情報、施設予約状況等を掲載し、常に最新情報を提供する。

	③ 総合的にサービス向上を図り、利用者及び利用率の拡大に努める。	○つくばセンター地区活性化協議会及び筑波研究学園都市交流協議会の会員として、イベント等に参加し、地域活性化とともに館のPRを行う。 ○利便性向上のための各種サービスを実施。 ・各種チケットの受託販売 ・施設利用者向けコピー・FAXサービス ・附属設備以外の備品の貸出。(プロジェクター・案内用スタンド) ○事業として映画上映や、中学、高校生を対象に学習スペースの提供を実施する。
--	---	--

【収益事業】

1. 公益目的外施設管理運営事業	(1) 公益目的外施設貸与 指定管理者として管理運営するノバホール及びつくばカピオの有効利用を図るため、民間団体・法人などが公益目的以外に利用する公演や展示会に施設を貸与する。 (2) 市民講座事業 ノバホール及びつくばカピオを会場とした、文化芸術の振興に関連した講座、教室等を有料で実施する。
-------------------------	---